

第16回環境甲子園

2016年12月3日(土)、仙台環境学習館「たまきさんサロン」において、第16回環境甲子園表彰式を行いました。表彰式では、主催者代表として、猪股代表理事よりあいさつをおこない、参加いただいた審査員から、講評をいただきました。

今回は、優秀賞1校、特別奨励賞2校が表彰式に出席し、活動発表を行いました。

第16回環境甲子園受賞校

優 秀 賞 岩手県立遠野緑峰高等学校 草花研究班
「廃棄ホップ蔓で産業振興！～遠野に和紙文化を目指して～」

特別奨励賞 宮城県農業高等学校 科学部復興プロジェクトチーム
「バラで被災地を変えるⅡ～
目指すはスーパー植物と食物連鎖を利用した環境修復型農業～」

特別奨励賞 山形県立加茂水産高等学校 水産生物部
「新しい藻場造成法の研究 ～Kamoモデルの構築～」

奨 励 賞 青森県立名久井農業高等学校 環境班
「花に願いを～芳香提供とPM2.5除去～」

奨 励 賞 宮城県柴田農林高等学校 牛ふんからキノコ
「糞は地球を救う～畜産環境問題から見たバイオマス資源活用方法の提案～」

授賞式の様子



主催者挨拶



表彰状の授与



受賞者の皆様と

第16回環境甲子園エントリー校 (13団体)

宮城県

6団体

宮城県柴田農林高等学校
牛ふんからキノコ
「糞は地球を救う
～畜産環境問題から見た
バイオマス資源活用方法
の提案～」

宮城県柴田農林高等学校
森林環境科 林産班
「柴農は二酸化炭素を出
しているの？吸っている
の？
～演習林の二酸化炭素吸
収量と学校の排出量を比
較して～」

宮城県農業高等学校
科学部復興プロジェクトチーム
「バラで被災地を変える
Ⅱ ～目指すはスーパー
植物と食物連鎖を利用し
た環境修復型農業～」

宮城県農業高等学校
農業経営者クラブ
「炭素肥料の可能性
について」

宮城県志津川高等学校
自然科学部 Bチーム
「八幡川河口に復活した
干潟の生物調査」

山形県

1団体

山形県立加茂水産
高等学校
「新しい藻場造成法の研究
～Kamoモデルの構築～」

岩手県

3団体

岩手県立遠野緑峰
高等学校
「廃棄ホップ蔓で
産業振興！
～遠野に和紙文化を
目指して～」

岩手県立盛岡農業
高等学校
森林ビオトープチーム
「リスが遊び、カタクリの花
が咲く街に」

岩手県立盛岡農業
高等学校
モリトみどりとみつばteam
「東北、それは森と蜜がわ
きいずる国」



秋田県

2団体

秋田県立大曲農業
高等学校
「田沢湖の新中性化シス
テムとその有用性につい
ての検討」

秋田県立横手清陵学院
高等学校
「豊かな自然を守るため
には～けもの道の保存と
タヌキの生態調査～」

青森県

1団体

青森県立名久井農業
高等学校
「花に願いを～芳香提供と
PM2.5除去～」